

京都の福祉

発行 京都府社会福祉協議会

2011
7
No.511



主な記事

- 1面…もえくさ
- 2・3面…「東日本大震災」の被災地支援の報告③
- 4・5面…NPO法人活動の紹介
- 6面…京都府社会福祉協議会平成22年度決算の概況
- 7面…うちのこれがイチオシ!
- 8面…夢中!・熱中!ふくしびと



本紙は、共同募金の
配分金によってつくられています。

京都市朱雀工場の皆さん

もえくさ

▼介護人材は、介護保険制度がスタートした平成12年の約55万人から平成21年の134万人へとこの9年間に約2.4倍という急速な増加をみせている。▼このことは、当然ながら社会経済システムの必要性に迫られて、国における様々な制度改正や支援措置及びこれに支えられた各地方公共団体や各都道府県社協に設置された福祉人材・研修センター等の努力に負うところが大きい。▼一方で、未来は明るいかというと、平成17年度以降の介護人材の伸びの鈍化傾向や介護福祉士養成施設への入学者数の減少傾向等不安材料は多い。▼国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口」(平成18年12月推計 出生中位、死亡中位)によれば、「団塊の世代」が全て75歳以上となる2025年には、「生産年齢人口」は、2009年に比べ1053万人の減の7096万人に、逆に65歳以上のいわゆる「老年人口」は734万人増の3635万人になると推計されている。▼一方、労働力人口は、2007年の6669万人から、2025年には5820〜6320万人へと減少することが想定されているなかで(雇用政策研究所「労働力人口の見通し」平成19年12月)、必要な介護職員数は、212〜255万人必要とのシミュレーションが公表されている。(社会保障国民会議「医療・介護費用のシミュレーション」)すなわち、平成37年までの14年間に、労働力人口が5〜12%減少する中で、介護職員数を80〜117%増加させる必要があり、そうなった場合の全労働力人口に占める介護職員の割合は、1.8%から3.4〜4.4%の割合になるという。▼個々の労働力需給調整は、個別事業者にとってほとんどの場合、短期の対応が求められる領域であり、そのことをなおりにすることは出来ない。しかし、一方で、縮小する労働力市場の中で、長期的な視野にたった福祉・介護人材の確保・定着支援のための仕組み及びこの短期・長期の仕組み相互間の整合性が強く求められるところである。

「東日本大震災」の被災地支援の報告 ③

東日本大震災に対する支援活動について

この度の東日本大震災の被災者・被災地に対して、社会福祉協議会では、全国の社協ネットワークを活かし全国規模の支援活動を展開しています。また、京都独自の取り組みとして、京都府災害ボランティアセンター（事務局：京都府社協）と京都府災害ボランティアセンター（事務局：京都市社協及びきょうとNPOセンター）の連携により、新たに「京都府災害ボランティア支援センター」が共同設置され、京都府社協はその一員及び事務局スタッフとして諸活動を推進しています。現在までの主な活動状況と今後の取組予定は下記のとおりです。

ボランティアバス派遣報告

京都府災害ボランティア支援センターでは、

多くの市民・府民や団体等からご協力を得て、支援センターの運営はもとより、情報収集や発信、支援物資の仕分け作業などの活動を行っています。並行して東北地方の各被災地の災害ボランティアセンターを中心に下見や受け入れ調整などを行い、4月29日～5月2日にかけて支援センターとして初のボランティアバスの運行を計画、参加者の申し込みは、わずか2日間で定員90名に対して460名を超える程でした。

参加にあたっては事前研修会を行い、被災地ではなく「故郷・古里」、ごみではなく「家財」、瓦礫ではなく「ご自宅」と、被災された方を傷つける言葉を発さないよう被災地に関わるボランティアとしての基礎・留意点を確認しました。

今回は3台のバスに分乗し、福島県（郡山）、岩手県（陸前高田）、宮城県（東松島）の3箇所派遣、瓦礫の撤去や避難所支援などの活動を行いました。参加者からは現地の実況を実際に目の当たりにして、この支援活動をこれからも長期にわたって継続していく必要性を痛感したとの声が挙

がりました。

■ ボランティア活動記

（ボランティアバス2号車）

旅館から活動場所である陸前高田市矢作町まで約2時間かかるため、バス内で仮眠をとりながら活動に備えました。活動場所となる矢作町は海から約8キロ離れた地点にあり、地元の言葉を借りると「山」と呼ばれている地域だそうです。地域の方とお話をさせていただく中で「私は海のほうから山に嫁いできたのに、なんでこんなところまで津波がきたんやろう」との言葉があり、胸の詰まる思いでした。ボランティア総勢60名で2日間かけ、田圃5面の瓦礫を撤去することが出来ました。京都に帰る際には、区民の皆さんが総出で見送りをしてくださり、中にはきれいに片付いた田圃を見て、涙されている方もおられました。甚大な災害に為す術もない状況の中、一人ひとりの力は微力ですがボランティア60名の力を借りた活動が少しでも被災地の方の役に立てたことは大変うれしく思いました。

近畿ブロック社協としての 現地支援活動と今後の取組（要点）

【基本方針】

被災者の生活再建・被災地の復興のために、社協の全国ネットワークを活かした連帯の精神で、京都府内のすべての社協が心をつなげて、息の長い支援活動を進めていく。

【支援期間】

- 1 被災者の生活再建・被災地の復興、京都に避難してきた被災者への支援を含め、長期的な支援を進める。
- 2 社協の全国的支援の一環で進めている近畿ブロック社協の職員派遣については、8月末までとし、現地社協の支援ニーズに応じてその後の支援を進める。

【支援内容】

支援先の宮城県災害ボランティアセンターの意向を尊重し、県災害ボランティアセンター本部支援、現地災害ボランティアセンター10箇所の運営支援を行ってきたが、6月以降は山元町災害ボランティアセンターを支援先としている。

＜経過・活動状況＞

- 3/11（金）午後2時46分頃 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生
- 3/15（火）社協として全国規模での支援体制を構築することを確認（全国会議）
- 3/16（水）近畿ブロックとして、全国調整で決められた宮城県への支援を確認
- 3/18（金）以降近畿ブロックから現地支援職員の派遣開始（⇒宮城県内各市町）

6月末までの派遣数は、近畿ブロック社協から755名（うち京都府内社協から91名）のほか、中国・四国ブロック351名を含め宮城県に1,106名。
（上記以外に、生活福祉資金特例貸付への対応として、京都府内社協から7名を派遣）

お礼の言葉

田んぼの持ち主の方々の顔つきが、今朝は本当に晴れ晴れとしていました。

みなさん今年は田んぼの作付を諦められていましたが、瓦礫撤去をしていただき、幾分心が晴れやかになっていました。大変感謝をしておられました。

今日お帰りになっても、このご恩は一生忘れません。昨日こられた時、私たちは泣き声でしたが、今日は笑顔をいただきました。言葉がございました。本当にありがとうございました。

(陸前高田市矢作町元屋敷区長 村上富夫さんからのお礼の言葉)



また、5月14日には現地での活動や経験者の声を伝える報告会が開催されました。報告会では、実際現地に行かれたボランティア4名をパネリストとして迎え、被災地で活動しようと思った動機や、実際行ってみての感想等を出し合いました。「自分が行って被災地の役に立てるのだろうか」とはじめは不安に感じていたという男性も家族からの後押しもあり、被災地へいくことを決めたとおっしゃっていました。

このように、ボランティアの自発性は尊重しつつも家族や身近な人にはボランティア活動に参加するというのを伝えてからの参加が好ましいと感じます。また、現地での活動の際には決して無理はしないことも重要です。「せっかくボランティアに来たのだから」「何かひとつでも被災者の方の役に立つことを」と焦る気持ちは十分理解できますが、ボランティアに参加して体調不良や怪我をしてしまうようでは本末転倒であり、ボランティアに行つて逆に被災地に迷惑をかけかねません。自身の体調と良く相談し、自分に出来る範囲の作業をすることが大切です。

また、今回は各バスでグループにそれぞれ

被災地支援ボランティア活動報告会



れ分かれて活動したため、事前研修の際に班長さんには班員の体調管理を徹底するようお願いしていました。また、男性・女性混合のグループ設定にしたため、大きな瓦礫は男性が何人か集まって運んだり、その間を女性が細やかな漂着物を拾ったりと適材適所の役回りが自然にとれていたのも印象的でした。

派遣から2週間が経ちそれぞれが思うこととして、「京都から出来ることを発信する」という共通の思いを持たれていたように思います。

今回、発信していただいた思いを第二陣、第三陣と運行するボランティアバスに乘れる方にもお伝えしていかなければならないと感じました。また被災地へ足を運ぶことだけがボランティアではありません。京

被災された方への京都での支援

2011年5月29日(日)にみやこめっせで、「第1回福祉職場就職フェア京都2011」が開催されました。

台風2号による大雨の中、東日本震災被災者も含め663名もの求職者が来場されました。当日、113法人が出展し、内20法人が東日本震災被災者を優先した採用枠を設け、職員寮への優先入居等の配慮があります。

厚生労働省も「特定被災者雇用給付金」の制度を設け、府社協人材センターやハローワーク等からの紹介により、東日本大震災による被災離職者を継続して1年以上雇用することが見込まれる事業主に対して、「被災者雇用開発助成金」が支給されます。

● ボランティア活動に関する詳しいお問い合わせは…

京都災害ボランティア支援センター

〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13

メルパルク1F (京都駅丸太中央口下車すぐ)

センター開所時間：午前11時から午後8時まで。

休所日 毎週水曜日(祝日の場合は開所します)

電話 075-741-6001 FAX 075-741-6006

URL <http://www.saigai-v.com/>

メールアドレス kyoto.saigai.v@gmail.com

都にしながらも出来る取り組みを支援センターでも発信していきます。京都に避難し

産・学・福連携でNPO法人を設立し、レストラン経営

障害のある人の働く場であり、学生の学びの場でもあるレストラン

活動の紹介

NPO法人

カフェレストラン「あむりた」

カフェレストラン「あむりた」は、今年4月にオープンした佛教大学二条キャンパスの1階にあります。フランスのとれた朝・昼・晩3食の食事を提供する事で学生をサポートしようと、朝8時30分から夜7時まで営業しています。このカフェレストラン「あむりた」を運営するのは、NPO法人中小企業家コンソーシアム京都。企業と大学、福祉施設が協働で立ち上げた全国的にも珍しいNPO法人で、レストランは就労継続支援A型事業所の指定を受けています。このNPO法人の立ち上げには、こんな経過がありました。

NPO法人中小企業家コンソーシアム京都は、京都中小企業家同友会に所属する10社の企業、障害者福祉施設、佛教大学の教員で構成されています。佛教大学が二条キャンパスの新設に向けて準備を進めていた2009年、学生食堂の委託先を公募することになり、それに応募しようと集まったのがきっかけです。京都中小企業家同友会では、障害者雇用を会員企業にどのように広めていくか、また、独自に新しく雇用の場を作り出すことができないかと検討をすすめていました。また、学生の実習受け入れなどで佛教大学との連携が深まる中で、朝食を抜いている学生が多いことや外食や

出来合いの弁当などが多く栄養バランスが十分でないことも気がかりとなっていました。そんな時、学生食堂の委託先が公募されることとなり、学生食堂を通じて、障害者の働く場の創出、学生の学びの場の提供、フランスの取れた食事による学生のサポートができないかということになりました。公募には、複数の企業が応募されましたが、選考の結果、中小企業家コンソーシアム京都に委託されることになりました。そこからレストランのオープンに向けて、急ピッチで準備が進められました。

現在、レストランでは、飲食業を経営する企業から出向しているシェフの指導のもと、4人の職員と障害のある14人のスタッフが働いています。スタッフは、調理・清掃・ホール係・レジ打ち・接客と様々な仕事を担当しています。担当の仕事は、スタッフの希望によって決められた3つの時

間帯に分けたシフト制になっています。京都市外から通うスタッフも多く、北は南丹市から、南は八幡市から通っている方もいます。JR二条駅前という立地が遠方からの通勤を可能にしています。

取材に伺った日は、ちょうど亀岡市からの団体さんがお越しになっていました。職員、スタッフが一丸となって、たくさん注文に対応していました。お越しになった皆さんは、一日限定5個の「あむりたパフェ」や手作りのスイーツ、好きなドリンクなどを注文して、午後のひとときを楽し





●就労継続支援A型事業所とは

障害者自立支援法に基づく事業体系のひとつ。対象利用者像を、「就労機会の提供を通じ、生産活動に係る知識及び能力の向上を図ることにより、雇用契約に基づく就労が可能なもの」としており、福祉的な支援を行いつつ、障害者が雇用契約に基づいて働く環境を用意することが求められます。雇用契約に基づく利用者の就労には、労働基準法、最低賃金法等労働関係法規が適用されます。

●店名の「あむりた」の由来

インド神話に登場する不老不死を与える飲料のことで、アムリタという響きを唱えるだけで、聞くだけで幸せが満ちると言われています。

●SHOP概要

店名 カフェレストラン あむりた
所在地 京都市中京区西ノ京栴尾町2-7
佛教大学二条キャンパス1F
(JR二条駅から徒歩1分)
営業 月曜日から土曜日(日・祝休み)
8:30~19:00
TEL 075-811-2252 (FAX兼)

●メニュー

朝のメニュー(8:30~11:00)
和定食・洋定食 各500円
昼のメニュー(11:00~14:00)
バイキング 1,000円
夜のメニュー(17:00~19:00)
おばんざい定食 1,000円
カフェメニュー(8:30~17:00)
ドリンク 200円~

■その他 懇親会・交流会など予約をすれば21:00まで対応可。アルコールの提供も含めてメニューも予算に応じて対応可。



レストラン「あむりた」は、一般の方も利用することが可能です。キャンパス内にあることから、学生の利用がほとんどのことですが、口コミで徐々に一般の方の利用も増えているそうです。予約をすればアルコールの提供や予算にあったメニューの提供も可能とのことで、懇親会や交流会で利用することも可能です。今後は、徐々に一般の方の利用を増やしていきたいと話しておられました。

んでおられました。

京都府社会福祉協議会 平成22年度決算の概況（一般会計）

収入	決算額	構成比
補助・委託金収入	359,854,292	69.2%
会費収入	14,112,800	2.7%
寄付金収入	2,007,034	0.4%
共同募金配分金	10,350,000	2.0%
事業収入	93,450,395	18.0%
預金利子	9,044,375	1.8%
その他の収入（経常収入）	7,704,641	1.5%
その他の収入（施設整備等）	2,870,217	0.6%
前年度繰越金	20,398,852	5.1%
総計	519,792,606	

支出	決算額	構成比
人件費	183,555,321	35.3%
事務的経費 （印刷費・通信費など）	12,064,550	2.3%
地域福祉・ ボランティア振興関係事業費	26,212,500	5.0%
共同募金配分金事業費	11,206,200	2.2%
介護・福祉サービス等 利用者支援関係事業費	76,968,329	14.8%
福祉人材養成関係事業費	142,675,000	27.4%
その他の事業費	44,078,457	8.5%
全社協負担金	1,402,000	0.3%
その他の支出（施設整備等）	643,705	0.1%
次年度繰越金	20,986,544	4.0%
総計	519,792,606	

※民間社会福祉施設整備資金にかかる収支等を除く実質的な収支

社会福祉施設 しせつの損害補償 総合損害補償



ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設のさまざまなリスクに対応するために！

プラン1 施設業務のための補償

（賠償責任保険、普通傷害保険、動産総合保険）

①基本補償

- 基本補償（A型）は、法人業務中、法律上の賠償責任が発生した場合、包括的に補償
- 見舞費用付補償（B型）は、賠償責任のない場合の見舞金が増加

- オプション1 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 施設の医療事故補償

②個人情報漏えい対応補償

- 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合（おそれのある場合を含みます）に補償

③施設の什器・備品損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

◆加入対象は、社会福祉法人等が運営している社会福祉施設です。

全国社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、充実した補償内容です。

プラン2 施設利用者のための補償

（普通傷害保険）

- ①入所型施設利用者の傷害事故補償
- ②通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 施設職員のための補償

（労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険）

- ①施設の労災上乗せ補償
- ②施設職員の傷害事故補償
- ③施設職員の感染症罹患事故補償

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約（「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」）です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします。



社会福祉法人
全国社会福祉協議会
（引受幹事保険会社） 株式会社 損害保険ジャパン



株式会社 **福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

うちのこれが

イチオシ!

京の逸品紹介します!!

障害者福祉事業所・施設のイチオシ商品を紹介するコーナーです。商品誕生のきっかけや“秘話”と共に、京都府内の隠れた逸品の「こだわり」をご覧ください!
☆このコーナーは、事業所・施設から寄稿いただいています。

21年秋にオープンした「床の宿」とこのやど」です。お店の名前の由来は、ぬか床の「床(とこ)」に野菜が美味しくなるために宿に泊まるという意味が込められています。

毎週木曜日の販売日にも関わらず地元の方々に好評頂き、現在ではぬか漬けのほかに醤油漬けや甘酢漬け、キムチ、梅干などの自家製お漬物はもちろん、旬の野菜を使用したできたてのお惣菜(お浸し、出し巻き、から揚げ、ハンバーグなど)も店頭に並びます。開店当初から作っているお漬物各種は、有機・自然農法の自家農園、近隣の有機農家さんで育てられた野菜を化学調味料や保存料などは切使用せず、ほんものの味をモットーに作っています。そのなかでも一番の看板商品、「床のきゅうり」は安定した人気を誇る逸品です!旬の味を閉じ込めた昔ながらの美

自然農法で大地に素直に育ったきゅうりを、昔ながらのぬか漬けにしました。

床のきゅうり

とこ



事業所・施設名 社会福祉法人 同胞会 同胞の家
住 所 京都府宇治市小倉町西山44-4
電 話 番 号 0774-20-4080
F A X 番 号 0774-20-2230

購入方法 販売場所

施設1階店舗「床の宿」にて毎週木曜(祝日を除く)11:00~14:00販売。
お電話でのお問い合わせも受け付けております。
※野菜の収穫状況により、販売できない事もありますのであらかじめご了承ください。

読者プレゼント

■5名の方に床のきゅうりをプレゼントします。

応募方法:「京都の福祉」の感想、氏名、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、ファックスもしくはメールにて右記宛にお送りください。(メ切:平成23年7月末)
なお、発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。また、商品は販売事業所・施設より直送いたします。(当選者の住所・氏名を事業所に提供いたしますのでご了承ください。)

■宛先

京都府社会福祉協議会「京都の福祉」担当 宛
メール: so-mu@kyoshakyo.or.jp
FAX: 075-252-6310
住 所: 〒604-0874
京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375

FAX申込書

お名前			
住 所			連絡先 ㊞
「京都の福祉」の感想			

FAX: 075-252-6310 (京都府社会福祉協議会)

夢中!・熱中!ふくしびと

～だから続けたい この仕事～

福祉の現場で働く人たちの熱い想い・メッセージを伝えるコーナーです。京都府内で“熱い福祉”を“夢中”で実践している方々にスポットをあてて、元気や楽しさ、やりがいを“生”の声でお届けします。

「夢が叶ったね」

一緒に喜べることの嬉しさ

精神保健福祉士 斉藤 夕子さん

大学生の頃、私は児童福祉を勉強していました。しかし、現場実習や就職活動をするうちに、一人でも多くの子が自分に自信を持って生きて欲しいと考えるようになりました。そして、人の生きづらさやこころの病気を治療する神経科の医院で働くことにしました。

その後、結婚の為に京都に戻り、今の法人に転職しました。利用者の方はこころのしんどさから強い不安を感じている方、落ち着かない気持ちに止められない方など、お一人お一人違います。しかし、皆その中で『希望を持て喜らしていきたい』『働いていきたい』と願い、それぞれ心身の調子を整えながら仲間やスタッフと共に目標に向かって日々通っておられます。

ある利用者の方が以前に「私の夢は、斉藤さんやスタッフの人達と一緒に働くことやねん。」とおっしゃっていました。最初は「斉藤さんが私の事どう

も伝え、次第にお互いの気持ちを通じ合う事が増えてきました。今同じ法人内の事業所で働くその方と、「夢が叶ったね。」と一緒に喜ぶ事が出来、本当に嬉しく思っています。

こころの病気はよく知られておらず、「精神障害者」という言葉だけが、強い響きを持って耳に入りますが、10年間で出会った方々は皆どこにでもいる普通の方でした。自分の望む仕事に就きたいという気持ちは皆誰でも同じです。その為に私はこれから皆に寄り添い、共に歩き続けていきたいと思っています。

思っているか分からない。「と不安を何度も口にしておられましたが、その都度その方の思いに耳を傾け、私の気持ちや考え

プロフィール



氏名：斉藤 夕子
職種：精神保健福祉士
施設名：社会福祉法人京都光彩の会
精神障害者通所授産施設京都市朱雀工房
経験年数：10年（今の法人で）
好きな言葉：「それでも人生にイエスと言う」（V・フランクル氏の言葉より）
夢中になっていること：「通勤電車で推理小説を読むこと」



「京都の福祉」へのご意見、ご感想、とりあげてほしいテーマなどをお寄せ下さい。表紙の写真も募集中です。（テーマ「笑顔」）

本会へのご意見等は、左記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

京都の福祉

発行所 京都府社会福祉協議会

発行人 宮本 隆司

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375

TEL 075-252-6291 FAX 075-252-6310

URL <http://www.kyoshakyo.or.jp>